

# 博士論文中間評価 審査報告書

←  
標題は16ポイント、センターリング

論文題目：○ ○ ○ ○

「日本語訳」



論文題目と申請者の間は1行あける

申請者：

英語の論文題目の和訳を列記し、和訳に「」をつけてください。

## 1. 論文内容の要旨

○ ○

## 2. 論文審査結果

本研究は、○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ .

「よって、本論文は、○○○○○○○合格と判定した。」」を締め括りとする。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ..... を世界で初めて提案した。  
本研究は、.....  
の観点から極めて重要である。また、本結果は、.....  
..... に大いに寄与するものと期待される。  
よって、本論文は、規定年限内に学位取得の見込みがあるものと認められる。  
また、平成 年 月 日、論文内容およびこれに関連する事項について試問を行った結果、合格と判定した。

### 【全体を通しての注意事項】

- ・ 上下左右の余白は各 20mm とする。
- ・ 標題以外はすべて 12 ポイントとする。
- ・ 報告書は全体で 2 ページ以内とする。

- ・ 外部委員は副査を担当する教授の最後に書く。
- ・ 外部委員の所属等は()書きで名前の右横または下に書く。
- ・ 教授 3 名以上・外部委員の他に、准教授が副査を担当する場合は外部委員の下に書く。

主査：生命太郎

副査：理学家子

：科学次郎

：研究三郎

(国内大学、教授)

：Thomas A. University 印 (又は同意書添付)

(世界大学 教授)